もっといきいき健康に！地域がつながる医療と介護を目指して

帰巌会

ご自由に
お持ち帰りください

かわら版

2022.8.1
August
vol.74

泉の里通所リハビリテーションセンターの庭にて

コンテンツ

巻頭言

整形外科医療 ―治療、その先の生活を見据えて― …… 2
整形外科疾患(運動器疾患)のリハビリテーション ―回復期リハビリテーション病棟の取り組み― …… 3
介護保険でリハビリ継続 ―病院で期限切れと言われたけど・・ …… 4
安全・安心をモットーに …… 4
リレーインタビュー 介護老人保健施設泉の里 …… 5
欅 ～たすき～ …… 5
郷土の歴史 …… 6
元気な地元クローズアップ／時事寸感 …… 6

巻/頭/言
ごあいさつ

社会医療法人帰巌会理事長
松山　幸弘

早々に明けた梅雨により心配された水不足は戻り梅雨によって一旦は解消されましたが、連日30℃を超える真夏日が7月だけでも20日以上を数えています。となるとやはり熱中症で運ばれてくる方が増加してきます。熱中症なのか新型コロナウイルス感染症なのか見た目だけでは判断できないためPCR検査の結果が出るまでは完全防護で対処することとなり対応するスタッフの負担は大きいです。

新型コロナウイルス感染症の爆発的な増加の波は普段は平穏な田舎のこの地であっても大きく押し寄せてくることとなりました。発熱外来では受診希望者が集中し駐車場内での渋滞を招くようになり予約制にしなければならなくなりました。不幸中の幸いではありますが、感染者数の増加に反して重症者数や死者数は増えてきません。しかしながら、現状は指定感染症2類に指定されており結核と同等の扱いであるため様々な制約の対象となります。具体的には感染者を診断した医師は直ちに報告する義務があり保健所による感染者の行動把握と接触者の追跡調査（検査）が行われます。感染症確定者（もしくは濃厚接触者）は就労することを制限され（就業制限）、必要に応じて感染症指定医療機関へ入院するよう勧告されます。勧告に従わない場合

整形外科医療
― 治療、その先の生活を見据えて ―

みえ病院
整形外科部長
岩崎　元気

整形外科は人のからだ全体の運動器（官）を対象とする診療科です。

外傷（けが）や病気障害によって不具合が生じてしまった運動器（官）を治療し、それらの不具合を取り除き、身体の動きを再獲得することを目標にしています。

治療が必要となる原因は、ケガや事故などの外傷だけでなく、高齢化に伴う変形や骨粗しょう症が基盤にあったり、成人病や癌などに起因する場合、そのほかにもさまざまあります。特に、豊後大野市では高齢化が進む地域でもあり、また坂道なども多く転んで骨折をされる方々も多いように感じています。

運動器（官）は、身体運動に関わる、骨・関節・筋肉・靭帯・腱・脊髄・神経などです。運動器（官）は単独で機能が成立するわけではなく、相互に連動して働いており、どこかが悪くなると身体の動きに影響がでてしまいます。そのため、整形外科の治療は、単に病気やケガを治すだけでなく、運動機能を元に回復させることを目指すことになります。また、運動機能が十分に回復できなかった場合には、残された機能や能力を最大限に活用して、時には道具を利用しながら、元の生活に可能な限り戻れるようにすることも役割だと考えています。

さて、当院では、4月以降、骨折などの整形外科疾患に対して、手術を中心とした積極的な治療を本格的に開始しました。例えば、2019年度10件／年、2020年度11件／年、（2021年は常勤医不在のため0件）と推移してきた手術件数が、今年度は4月9件、5月15件、6月12件と大きく増加してきています。中でも、大腿（太もも）や下腿（膝から下）の骨折の手術、股関節の人工関節入れ替え手術、上腕（うで）や前腕（肘から手首まで）の骨折の手術などが多く、状況によっては緊急手術も行っています。

設備の整った救急室や、高機能CTにも活躍してもらいつつ、高齢になるほど違う疾患を抱える方も多いため、他の診療科の先生やかかりつけの先生とも必要に応じて相談しながら手術や治療にあたっています。

しかし、既に述べたように、整形外科は治療をして、体の動きを再獲得して、可能な限り元の生活に戻れることを目標としていますので、『手術をすれば終わり』ではなく、その先の生活まで見据えることに注目しています。そのためには、リハビリテーションや自宅に帰る準備を整えることも大切になってきます。

その点、みえ病院では、治療を行いながらリハビリテーションを行える体制が整っています。急性期病棟では手術や治療を行った直後から、理学療法士や作業療法士などの専門家がリハビリテーションを行うようにしています。また、より一層の集中的なリハビリテーションが必要な時には、回復期リハビリテーション病棟という専門的な病棟もあります。さらに、退院した後も外来のリハビリテーションも受けることが出来るようにしていますし、必要であれば訪問リハビリや介護保険で利用できる通所リハビリテーションも実施しています。退院する際の準備にも、医療ソーシャルワーカーという相談員が中心となって、患者さんや家族と医師、看護師、リハビリスタッフの間の意見のすり合わせを行いながら、退院した後の生活を組み立てるようにしています。

そして、当院の整形外科では、大分大学医学部や九州大学病院、臼杵病院等からの協力もいただきながら、月曜日から土曜日まで外来診療と外来リハビリテーションを行っています。また、予定手術日を火曜日と木曜日の午後にしていますが、緊急時などには可能な限り他の曜日でも対応するようにしています。

みえ病院整形外科では、地域で生活される皆様が、ご自宅で近い場所で安心して整形外科の治療が受けられるように注力していきますので、お気軽にご相談いただけたらと思います。

は強制的に入院させられることもあります。などでありますが、これだけの数に増えてくると担当する保健所にも人員に限りがあり更には保健所職員が感染したり濃厚接触者となることもあるでしょうから勤務スタッフ確保には頭を抱えていることでしょう。

この感染者数の急増は帰巌会で働くスタッフにおいても例外ではありません。スタッフ本人あるいは同居の家族が市中感染と思われる感染が発生することにより保健所の指導による就労制限のため（もちろん感染拡大予防が目的ですが）予定の勤務が出来なくなり急遽勤務を変更して人員を確保しなければならないといった対処が必要となっています。7月22日付で濃厚接触者の自宅待機期間が接触日から7日間から5日間に短縮されましたが、今の感染拡大状況からは人員確保が困難な状況が暫くは続くことが予想されます。

振り返ると6月に東京都医師会会長が指定感染症5類相当に見直しを、と提言された「・発生の届出は全数を診断後、直ちに行う。・医療費は医療保険を適用し、患者負担分を公費で負担する。・原則として入院勧告、入院措置、就業制限、健康診断は行わない。・病原体の取り扱いは「4種病原体等」とする。・届出、医療費の扱い以外は季節性インフルエンザと同様の対応とする」の内容が現状から考えると妥当なところではないだろうかと思います。

このような日々の中で唯一心が癒やされるのは夏休みになった子供と参加する近所の広場での朝のラジオ体操です。全国各地から中継され、その地のミニ情報や方言など織り込んで放送されています。第一と第二でわずか約10分間。私が子供の頃から何十年と変わらぬ夏の朝を清々しく過ごしています。

整形外科疾患（運動器疾患）のリハビリテーション
― 回復期リハビリテーション病棟の取り組み ―

みえ病院リハビリテーション科長　曽根崎　圭太

当院の回復期リハビリテーション病棟に入院する運動器疾患の患者さんの特徴として、平均年齢が高いことがあげられます。受傷機転としては、日常生活動作の中での「転倒」や骨粗鬆症などによる「いつのまにか骨折」が多くみられます。

当院では急性期治療の後、疾患管理に留意しつつ、生活に密着した練習を中心とする回復期リハビリテーション病棟があります。回復期リハビリテーション病棟は、制度上「入院できる病名」「入院できる期間」があります。運動器疾患の対象病名は、大腿骨、骨盤、脊椎、股関節もしくは膝関節の骨折または手術後の状態などと決められた病名があげられます。また、運動器病名の入院期間は最大90日と定められています。その制度の中で当院の回復期リハビリテーション病棟は26床とコンパクトな規模ですが、整形外科の常勤医師である、岩崎元気医師の指示のもと、看護師、セラピスト（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）、社会福祉士、管理栄養士、薬剤師、介護福祉士等、多くのリハビリスタッフと経験豊富な病棟スタッフの連携により土日祝日、年末年始もリハビリテーションが提供できる365日リハビリテーションの実施体制をとっています。また、回復期リハビリテーション病棟では、退院後の生活を見据えて他職種共同にて様々な取り組みを行っています。当院の特徴的な取り組みとして「栄養リハビリ」「排尿リハビリ」「集団リハビリ」といった3チームの取り組みがあります。主に低栄養のリスク管理・リハビリの時間や負荷が増加した状況下での適切な栄養管理・筋力や持久力などをより改善させる栄養管理を目的とした「栄養リハビリ」、退院後、社会参加（地域・デイケアなど）へスムーズに環境適応・引きこもり予防できるように入院時より病棟での他患者さんとの社会的交流を目的とした「集団リハビリ」、患者さん・ご家族から多く求められる退院後の排泄動作自立、介護負担の軽減、尿失禁の軽減を目的とした「排尿リハビリ」の取り組みを始めています。3チームともに月1回の話し合いや職員間との情報共有をしています。その他、週1回、岩崎元気医師とのカンファレンス（全患者さん）や入院から退院後までの取り組みであるご家族との面談・家屋調査・自宅での動作確認・自宅でのリハビリテーション・退院後訪問はコロナウィルス感染症の流行により、代替手段の活用や感染予防を十分に配慮し慎重に取り組ませていただいています。

セラピスト（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）によるリハビリを行う時間は1日最大9単位＝3時間（1単位＝20分）と定められています。全国平均提供単位6.36に対して当院では、患者さん1人ひとりに合わせたリハビリスケジュール管理を行い、体調不良等を除き、平均8.68単位を提供させていただいています。

2022年4月1日～6月30日の回復期リハビリテーション病棟に入院された運動器疾患の対象者41名（全体82％）のうち、当院手術後20名、保存療法15名、他病院からの転院6名でした。男女比は、男性9％女性91％、平均年齢は82歳、在宅復帰率（特別養護老人ホーム、有料老人ホーム等を含みます）は97％、平均入院期間は47日でした。

今後においても、回復期リハビリテーション病棟としての役割として患者さん・ご家族を中心に退院後を見据えて、より実践的な自立（身体的、心理社会的）を目指したリハビリテーションをスタッフ一同努力していきます。

介護保険でリハビリ継続
――病院で期限切れと言われたけど・・

みえ病院通所リハビリ（短時間リハビリ）　古本 雅博

みえ病院通所リハビリの大きな特徴

①リハビリ（運動）に特化しているので滞在時間が短い
②全員に個別リハを提供。
③無料の送迎サービスが使える

介護保険認定者は医療（病院）リハビリの期限が過ぎた場合、外来リハビリの利用が出来ません。期限が過ぎた外来患者さんの受け皿として、みえ病院通所リハビリテーションサービスは開始しました。現在は月曜日～土曜日に84名の方が利用しています。

こんな方にお勧めです

①リハビリ（運動）のみを行いたい方
②足腰に不安を抱えている方
③日常の動作に困っている方
④レクリエーションのような集団リハが苦手な方
⑤長時間のサービス利用は体力的に不安がある方
⑥食事・入浴のサービス利用は不要

ご利用時の流れ

みえ病院の1階にあるリハビリテーション室内にて行い、個別リハビリ・マシントレーニングや自主トレーニング等、運動を中心に約1時間10分の取り組みとなっており、医療保険で行う外来リハビリに近い形となっています。

送迎サービスやご家族の送迎等で来院し、リハビリテーション室に到着後、健康チェックを行い、個別リハビリや各自運動に取り組みます。個別リハビリについては要支援・要介護に関わらず、利用者さん全員に対して実施しています。リハビリ専門職がマンツーマンでストレッチ・筋力トレーニング・動作練習・自宅での運動指導等、20分程度行います。マシンについても充実しており、利用者さんの状態に応じて運動メニューを提案しています。

実績・利用者感想

運動機能が改善し、生活に変化が見られた一例です。利用時の取り組みや自宅での運動指導を行い、3か月後には高齢者の生活機能や歩行能力を総合的に評価するTUGにて26.8秒から14.8秒と大幅に改善しました。〝きつい、痛いから動きたくない〟からの悪循環が改善し、利用前はほとんど外出する機会がなかった利用者さんが自分で歩いて買い物に行くようになる等の生活場面での変化（行動変容）が認められました。その他に「他の人が取り組んでいる姿を見ると私も頑張れます」。ご家族より「歩きぶりがよくなった」と多数お声を頂いています。とにかく結果を出すことに重点を置いています。

利用するには

担当のケアマネージャーにご相談ください。「みえ病院の短時間通所リハを使いたい」言えば話が早いです。随時、見学も受付けています。

個別リハビリの様子

マシントレーニングの様子

安全・安心をモットーに

みえ病院送迎サービス　麻生純二

みえ病院では無料の送迎サービスを行っています。病院が所在する豊肥地域は人口減少が進み、バスなどの公共交通機関も路線が減少し、不便を感じる状況です。また高齢で運転免許を返納された方や、家族が仕事などで送迎ができない方など交通手段の確保が困難な患者さんの診察やリハビリ、透析などの通院にご利用いただいています。

送迎の範囲は、豊後大野市内はもとより、佐伯市宇目、臼杵市野津町、竹田市の一部地域など、広範囲に及びます。送迎車両は軽自動車から15人乗りワンボックスカーまでの11台（車いす対応車両4台）を使用し、地域の道路事情や患者さんの人数に応じて運用を行っています。送迎は患者さんの自宅玄関先から病院の玄関まで行います。出来る限り診察時間に合わせてお迎えに行きますが、その日の交通事情やその他の事情で多少時間が前後する事があります。また地域別送迎を行っていますので、相乗りでのご協力をお願いしています。

送迎のモットーは「安全・安心」です。患者さんが安心してご利用いただけるように、運転には細心の注意を払っています。また転倒等の起こりやすい乗降時には、患者さんそれぞれに応じた補助、気配りに努めています。運転士は患者さんに最初に接する者であり、最後まで見届ける者です。ですから、患者さんの日々の変化をいち早く感じることができます。そうして得た情報を相談員等に報告し、情報の共有化を図り、早期に対応できる体制を目指しています。今後もより質の高い〝送迎〟を目標に運転士一同取り組んでまいります。

病院送迎では、昨年から帰巌会臼杵病院とみえ病院の間の送迎サービスを行っています。両病院の特徴、設備等を検査・治療・入院等に活かし、さらに患者さんやご家族の負担軽減のために行っています。詳しくはみえ病院もしくは臼杵病院の相談員にお尋ねください。

リレーインタビュー 42回目

介護老人保健施設泉の里

看護師長　波津久　五月

2020年7月に介護老人保健施設「泉の里」に異動して2年が過ぎました。

それまで市内の病院、みえ病院、臼杵病院と病院畑の中で仕事をし、病気の治療や回復することを目標に看護をしてきました。その中で、看護に対する考えが変わってきたのは、2017年の4月に、両親の住む三重に戻り、みえ病院に勤務するようになってからでした。地域の人が困った時のかかりつけ病院、地域に根づいた病院としての機能を充実させるべく取り組んでいる「みえ病院」で、患者さんの病気が回復し、戻る先の「生活」が重要であることに気づかされました。その後、老人保健施設「泉の里」に異動しました。介護老人保健施設は、介護を受けながらリハビリをして在宅復帰を目指す施設です。やはり、その先には「生活」があることは同じです。

「泉の里」には、要介護認定（要介護1～5）を受けた方で、病状が安定していて入院治療の必要がなくなり、リハビリテーションを必要とされる方が対象になります。最近の特徴として、高齢者、複数の疾患を抱えている方、認知症の方が多いと感じます。泉の里には、ユニット型個室20床、多床室28床、短期入所生活（ショートステイ）10床あり、ほぼ満床の状態で対応しています。医師である施設長、看護、介護、リハビリテーションから栄養まで、さまざまな専門職が多職種協働で、利用者・家族が安心して自立した生活が続けられるように支援する施設です。様々な専門知識・技術を持ったスタッフがチームで利用者の生活を支えています。

その中で私たちが大切にしているのは、今まで生きてきた入所者の尊厳を大切にし、その人らしく過ごせる施設であることです。新型コロナウィルス感染症の第7派に入ったのではないかと言われ、発症から3回目の夏となっています。そのなか、感染症の蔓延で、入所者の生活様式も大きく変わり、翻弄されている状態です。外出・外泊や面会が制限される中、孤独感を抱えたまま過ごすことがないように、リモート面会も早期より開始しています。感染が落ち着いたときには、感染対策をとったうえで対面の面会も行いました。早く感染がおさまり、以前のように、家族のもとへの外泊、外出ができるようになり、今まで大切にしていたその人らしく過ごす時間が戻れることを祈るばかりです。

残念ながら、回復の見込みの厳しい方の見取りも行っています。その人の残された時間がさみしくないように、見取りに限っては、PCRの検査を行い、感染対策を行ったうえで面会できるようにしています。一人一人の尊厳を大切にしたいからです。

今後も、その人らしくあるにはどうしたらよいか、施設長をはじめ、多職種チームと一緒に考えていきたいと思います。

襷～たすき～

豊後大野編 File 1

お菓子工房　紺や

代表　平山祥三さん

襷（たすき）といえば箱根駅伝をイメージします。10人の選手が全力でラスト10区へ繋げる襷は人と人との信頼や不思議な縁に他ならないと感じます。1位の選手がいる一方、一定時間内に到着できず繰り上げスタートになる選手もいます。渡せなった襷はその後の人生にどんな影響を及ぼすのでしょうか。そんなひたむきな方々を、人生をご紹介させていただく「襷～たすき～」のコーナー。地元の「あの方」の登場をご期待ください。

初回は平山祥三さんをご紹介します。豊後大野市三重町で「お菓子工房　紺や」をご家族で営んでいます。それまでは会社に勤務し定年退職後は地元でパン屋を開きたいという夢を持っていました。そんな時、パティシエとして県外で働く娘さんから「自分の店を持ちたい」の一言がきっかけで明治33年に建てられた実家をリフォーム、半年後の2009年６月にはお店をオープンさせました。早期退職した平山さんも「娘の一助になれば」と思い製菓専門学校に入学し国家資格「製菓衛生師」免許を取得しました。

「台所に立ったこともないのにな」と、笑いますが今は早朝から工房に立つ毎日。焼きたてのシューに力強くもなめらかなカスタードクリームを入れるとシュークリームが完成し10時開店を待ちます。

オープンから今年14年目を迎えた「お菓子工房　紺や」。店名の由来は明治から藍を扱う染物屋「紺屋」の名を継承しました。人々がにぎわった様子は当時使われていたお重やお椀からも感じられます。店内に入ると、カウンター越しに平山さん夫妻が迎えてくれます。ショーケースをのぞき「今日はどれにしようかな」と、選んでいるお客さん。中にはお皿を持参しケーキを求めにくる方も。「この前のケーキ美味しかったよ」の声に「支えてくれる地域の人々や先祖へ感謝がこみ上げる」と、平山さん。小中学校の子どもたちにパティシエの楽しさを紹介し、公民館でお菓子教室を開くなど繋がりは地域へ広がっていきます。新商品に取り組み完成させた「里芋と焼酎のチョコバー」は地元の食材を研究した自信作です。

駅前の道を入ると一角に「お菓子工房　紺や」はあります。ちょっと寄り道をしてみませんか。　（インタビュアー　ハシモト）

大分県豊後大野市三重町市場1610
電話番号／090-1083-5080
営業時間／10：00～18：00　2階ではケーキセットが楽しめます
定休日／日・第3月曜日
ホームページ／http://kouya-cake.com/

郷土の歴史

豊後大野市ジオガイド
後藤　宕子（ひろこ）

日本一の轟（とどろ）橋・二位の出会（であい）橋

傾山ふもとに広がる国有林から多量の木材を搬出することを目的として、国有林生産事業の一環として、森林鉄道の軌道橋が作られた。これが轟橋である。

伐採した材木を貨車に載せ牧口駅（豊後清川駅）迄運ぶもので総延長30キロメートル。その中間程には9万年前の阿蘇山大噴火で生じた険しい谷が形成されており、この奥嶽川を渡るため、昭和9年（1934年）長さ68・5メートル、高さ25メートル、右岸側32・1メートル、左岸側26・2メートルの2連のアーチ橋ができた。アーチの石橋としては32・1メートルは日本一の径間である。

牧口駅貯木場迄木材を運んだ戻りのトロッコには、従業員の家族や生活物資も積まれ、時には救急往診の医師の車代わりに利用されたと言う。昭和30年にはこの鉄道は廃止された。

その後、清川村に無償で払い下げられ道幅を広めて車が通れる様になった。

すぐ下流にある出会橋は径間29・3メートル、日本2位の橋である。この橋は大正13年に轟・平石地域の人々により、往来のために架けられた。

その理由として大正11年に豊肥線牧口駅が開業した事がきっかけではないかと言われている。（轟地域の人々が最短距離で牧口駅に行くため）また、この橋のアーチは長短交互二段積になっており、別名ジャンコ巻と呼ばれ、大分県内で残された石橋の中では他に例がないと言う。

元気な地元 クローズアップ

안녕하세요（アニョハセヨ）😊『釜山亭三重店』です！

福岡天神店より進出してきました～！
店内仕込みの、ヤンニョムチキン、キンパ、海鮮チヂミ…他、1000円以内で食べられる定食、テイクアウト、サムギョプサル、チーズタッカルビの食べ放題コースもご用意しています！！オードブルも頼めますよ～！韓国で人気なジュース、お菓子も取り揃えています！韓国雰囲気を楽しんでいただけると思います！
皆さまお越しください！お待ちしております！

（釜山亭三重店　サイ）

釜山亭（プサンテイ）三重店
お問い合わせ先　〒879-7111　豊後大野市三重町赤嶺1518番地
（HIヒロセスーパーコンボ三重店内）
☎0974-22-8110（HIヒロセ三重店代表電話）
営業時間：11:00～19:00

時事寸感

ウクライナでの戦争は一向に鎮静化の気配はないが、多くが飽いてきたようで、ニュースの主役を下りたと感じさえ漂う。兎角世論は冷たいものである。それを埋めるかのように、7月に入ってから、目を引く出来事が相次いで突然携帯電話が不通になる。2日の土曜日、KDDIのau5日間繋がらない事態となった。実に4日間、社会的責任とか復旧への必死さとかで、殆ど感じられず、正味腹立たしいかぎりだった。コロナ第7波が襲来、マクロ国策で外国人旅行者の入国検疫は簡便に補食スとなり、熱中症対策は緩和策を打ち出し、不要不急の外出は自粛を求められた。「適切な感染対策」だけは注意して、専門家会議とか政府は国民がそれぞれの理性的説明をすべきだと思う。「気象観測開始以来最速の梅雨明け」、「ニーニャ起因の太平洋高気圧とチベット高気圧で容易に水不足が心配されるこの高温は解消しないと気象予報士の姉さんが熱弁を振るい、干上がりかけた四国の早明浦ダムを引き合いに、前線が復活、大雨が降り続く。お天気は安定しない。責任者は水不足の途端に、梅雨明けは発表した。8日には安倍首相が「大事件」が発生した。前首相狙撃事件の統一教会推薦の私は驚くばかりである。

（帰巌会副理事長　榎本　祥文）

帰巌会 かわら版
〒879-7111　豊後大野市三重町赤嶺1250-1
社会医療法人帰巌会　■発行者／理事長 松山幸弘　■編集／法人本部
http://www.kigankai.or.jp/
tel.0974-22-2222